

# 謹賀新年

## ごあいさつ

## 2023 新年の



### 「住みたくなるまち 敦賀」の実現に向けて

### 市民から信頼され、身近でわかりやすい議会の継承へ



敦賀市長 瀧上 隆信

**新**年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、輝かしい令和5年の初春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

#### （北陸新幹線敦賀開業に向けて）

いよいよ北陸新幹線敦賀開業まで約1年2カ月となり、敦賀駅舎新築工事が進められ駅の優美な外観が姿を現してきています。

昨年9月にTSURUGA POLT SQUARE Ohta（ツルガポルトスクエアオッタ）がオープンしました。エリア内には、3万冊を超える書籍を配した「ちえなみき」や嶺南初出店となるスターバックスコーヒーをはじめ、ホテル、飲食・物販テナント、さらにはイベントができるウッドデッキ付き芝生公園など、新幹線始発・終着駅に相応しい敦賀独自の駅前空間を官民一体で整備しました。

このOhtaが市民の皆様にとっては交流にぎわいの拠点として、来訪者にとって、市内の観光スポットへ誘う玄関口として、大きな役割を果たすものと期待しています。

また、「東浦みかん」は、例年多くの方がみかん狩りに訪れ市内外の皆様に親しまれており、地元の子どもたちによるPR販売会や新商品の開発など、新たな取り組みも始まっています。

#### （敦賀ブランドの推進）

敦賀市が誇る「敦賀真鯛」や「敦賀ふぐ」については、試食会や視察会、市内外でのイベントへの出店を通じてPRするとともに、市外の料理店との取引や、さらには都内大手デパートと連携した新たな販路開拓にも取り組んでいます。

また「東浦みかん」は、例年多くの方がみかん狩りに訪れ市内外の皆様に親しまれており、地元の子どもたちによるPR販売会や新商品の開発など、新たな取り組みも始まっています。

#### （ゼロカーボンシティへの取り組み）

敦賀市では、原子力発電のみならず、再生可能エネルギーや水素エネルギーといった多様なCO2フリーエネルギーの活用を進めており、一昨年にはゼロカーボンシティ宣言を行いました。

こうした中、北陸電力株式会社と卒FIT電力や新清掃センターでのゴミ発電を利用した再エネ電力の供給計画などを

環境省へ共同提案し、北陸として初めて環境省の脱炭素先行地域に選定されました。また先月からは関西電力株式会社と原子力発電を活用したCO2フリー水素製造の実証を行いゼロカーボンシティの実現を目指しています。

#### （子育て環境日本一への取り組み）

新たな子育て支援策として、園児が野坂山などを散歩する自然体験やコンサート鑑賞などの芸術に触れる事業を実施するとともに、保育園・児童クラブにICTシステムを導入しました。子育て世代が安心して暮らし、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、引き続き子育て環境の充実に取り組んでまいります。

#### （結び）

私が目標とする、誰もが「住みたくなるまち敦賀」の実現のためには、市民の皆様お一人おひとりのご協力のもと「市民が主役のまちづくり」を実践していくことが大切です。市民の皆様の声に耳を傾け、市政運営に努めてまいります。

本年が皆様にとりまして、幸多き素晴らしい一年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

敦賀市長  
瀧上 隆信

### 新

年明けましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから市議会に対する深いご理解と格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

#### （昨年を振り返って）

流行して3年経過する新型コロナウイルスは今後も変異を繰り返し、収束までにはさらに感染拡大が生ずることも懸念されますが、これまで、医療従事者をはじめ、企業・市民の皆様の感染対策へのご尽力・ご協力に對しまして、心より感謝申し上げます。今後は、コロナ禍の経験を生かして、デジタル技術などをそれぞれの環境にに応じて賢く取り込み、市民生活をより良い方向へ変革していくことが肝要と考えます。

#### （敦賀市の展望）

北陸新幹線敦賀開業を来年の春に控え、完成しつつある様々な施設整備に加え、敦賀の資源の魅力を最大限に高め、温かく迎える準備を加速していかなければなりません。しばらくの間「敦賀」が発発・終着となることを生かし、人々のメンタルマップ（心の中の地図）に深く刻まれるような様々な仕掛けをつくり、ビジネス投資が生まれ、雇用増、所得増につながることを期待するところでもあります。さらには、京都・大阪への延伸も見据えた長期的なビジョンも描くべきと存じます。

また、ロシアのウクライナ侵攻を契機に、世界中で大きなエネルギー危機が起こっており、2050年カーボンニュートラルの実現や将来的な日本のエネルギー安全保障を確保していくためにも、安全性を大前提とし、原子力発電を最大限活用したエネルギー政策を構築していくことが必要であると存じます。

そのためには、国が前面に立って、正しく国民理解を進めていただき、明確な原子力政策を打ち出していくことが大事であり、これまで原子力発電を受け入れ、長年にわたり共生を築き上げてきた立地議会としてもしっかりと声を上げてまいります。

#### （身近でわかりやすい議会の追求）

敦賀市議会においては、市民本位の立場に立ち、議論を通じ、「市民に信頼され、その負託にこたえていく、身近でわかりや

すい議会」を目指し、取り組んでおります。取り組みの一つである、議会活動や議会で議論を広く知っていただくとともに、市政や議会に対する市民の皆様への考え・思いを伺う「議会報告会」を、令和4年度は3年ぶりに対面での会場参加型で実施するとともに、出前議会報告会も行い、市議会への市民参加および市民との連携を図りました。

#### （結び）

今年が改選を迎えますが、こうした議会活動を通じて、たとえ小さな声であっても、市民の皆様の声が各種施策に反映されるよう取り組むことを継承し、「行政監視機能」の充実・強化と「政策提案機能」を発揮する機関として二元代表制の一翼を担ってまいりますので、なお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって、幸せ多き一年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

敦賀市議会議長

馬瀧 清和